

## 認知機能低下に寄り添う通いの場について

## 1 経緯

本市では高齢化率等の伸びが著しく、今後認知症高齢者の増加が想定されています。認知症は誰もがなりうることから、認知症になっても自分らしく暮らし続けることができる地域づくりが必要であり、具体的な対策が求められています。

## 2 現在までに分かっている課題（包括・元気塾・担い手・市担等からの情報）

事業・会議	状況	課題
地域ケア会議	・個別ケース会議 25 件中 15 件が認知機能低下の事例 ・軽度～重度まで含まれ、通所先の検討・徘徊・権利擁護に関係した内容	・早期からの支援が必要 ・介護する家族への支援も重要
認知症地域支援推進員会議	・東部エリアでは、令和2年度元気塾修了者のうち、認知機能低下者6名。そのつなぎ先として、通所介護を利用3名、施設入所1名、つなぎ先なし2名。	・認知機能低下があるとつなぎ先に苦慮する。 → つなぎ先が少ない
地域包括支援センターの総合相談	・認知症の診断をされている人は、介護保険サービスにつなぐ場合が多い。	・定期的に通うことが難しく、送迎がないと通えなくなる恐れがある。
元気塾	・令和元年度元気塾利用者 90 名のうち、基本チェックリストで「もの忘れ」の項目が修了時改善した人は 29 名。修了時に該当した人は 13 名。開始時・修了時ともに該当した人（変化なし）は 11 人。 ・卒後の主なつなぎ先は、地域介護予防教室・近トレやサロン、デイサービス、民間のスポーツ施設、コミセン、元気塾のボランティア等	元気塾卒後の活動につなげた後の状況が把握できていない。
認知症カフェ	市内に8ヶ所。懇談会や学習会・相談などの工夫もあり、各所が主体的な活動を行っている。	コロナ禍で活動の継続に困難性あり。詳細の現状把握が必要。
地域介護予防教室や近トレ	・元気アップ体操に追加して、脳トレやリズムステップ等を実施しているところもある。 ・担い手側として、認知機能低下者を受け入れることは荷が重いとの声がある。	・認知機能低下の方は、継続できず、離脱してしまう恐れがある。 ・担い手への支援や具体的な手法の提供の把握が必要

認知機能が低下すると、現在の通いの場には通いにくい、または受け入れが難しい

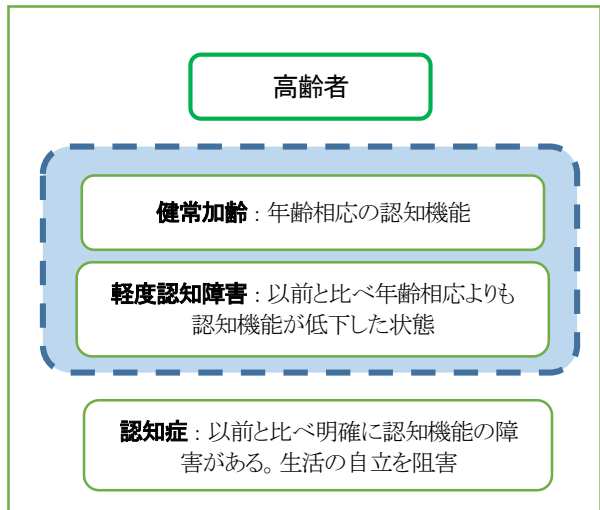


認知機能が低下しても、今の通いの場に参加し続けられるよう、在り方を考える必要があるのではないか

### 3 今回の事業の対象像

比較的認知機能の低下が軽度である、「健常加齢（年齢相応の認知機能）」と「軽度認知障害（以前と比べて年齢相応よりも認知機能が低下した状態）」。

認知機能低下があっても、生活の自立を阻害しない程度を想定。



### 4 進捗状況

会議名	参加者	内容
5月11日（火） 地域課題NW会議	2層コーディネーター（10名） 包括支援センター認知症地域支援推進員（5名） 市職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2層・包括・市の<b>規範的統合</b>を図る。</li> <li>・認知機能が低下しても通いの場に通い続けられるような取組みを協働で検討。</li> <li>・8月までに各圏域の通いの場（地域介護予防教室・近トレ・サロン・認カフェ等）の実態把握アンケートと分析を実施。</li> <li>・10月、12月のネットワーク会議で報告・共有。それぞれの通いの場での取組み方法を検討。</li> </ul>
5月18日（火） 近トレミーティング	2層コーディネーター（4名） フレイル予防推進員 市職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近トレへのアンケート内容・方法等を検討</li> <li>・6月下旬に近トレ交流会の案内と共にアンケートを郵送し7月中に返送してもらう。</li> </ul>
6月8日（火） 認知症地域支援推進員会議	包括支援センター認知症地域支援推進員 市職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の具体的な展開方法を検討</li> </ul>
6月16日（水） NWオレンジの会	2層コーディネーター・包括支援センター認知症地域支援推進員・ いこいの会（1名）初期集中（1名）疾患医療センター（1名） 市職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への主旨説明・協力依頼</li> <li>・いこいの会（家族の会）代表より、認知症の理解を促進し、より当事者目線で考えられるとよいつとの意見あり</li> </ul>

### 5 今後の予定

実施時期	対象	実施主体
7月上旬	近トレ	2層コーディネーターが実態把握アンケート実施
未定	サロン	2層コーディネーターが実態把握アンケート実施
7月上旬	認知症カフェ	認知症地域支援推進員が実態把握アンケート実施
7月中旬	地域介護予防教室	市職員が実態把握アンケート実施
8月中	現状把握アンケートの分析	
10月	第2回地域課題ネットワーク会議（現状把握の共有）	
12月	第3回地域課題ネットワーク会議（具体的な取り組みの検討）	
1月以降	試行実施	